

# 総務企画防災常任委員会行政視察報告書

大 島 綾

## ○栃木県大田原市

### 議会のタブレット端末導入について

### 本会議のインターネット配信について

#### 【所 見】

大田原市議会は平成27年3月定例会からタブレット端末を導入し、定例会の議案書や委員会での資料等を電子化することによるペーパーレス化に伴う紙代の削減や文書保存に関する管理の効率化を図っている。

本市議会としてもペーパーレス化を図るため、さまざまな連絡事項のやり取りについて、以前はFAXでの連絡が主であったが、現在ではメールによる連絡が定着してきているところである。また、本市議会としてもタブレット端末の導入が議会改革の一項目として以前より挙げられてはいるが、いまだに導入されていないのが現状であり、私自身、早期の導入を望んでいる一人でもある。

大田原市議会のタブレット端末導入のきっかけは、市の執行部側からのタブレット端末の議場への持ち込みの申し出があったことということである。

大田原市では、「大田原市役所地球温暖化防止実行計画」の中の一つの項目として、「庁内連絡における行政イントラネットの活用や、会議資料の電子化等によるペーパーレス化を推進します」など、コピー用紙の基準年度比で20%以上の削減を目標に掲げ取り組んでおり、その目標達成へ向けてペーパーレス会議を推進するために平成26年6月にタブレット端末の導入を決定したとのことであった。その後、平成27年3月定例会からは議場でのインターネット回線利用についての許可申し出があり、それに伴う議場等の工事の補正予算が平成26年12月定例会に上程されたことから、議会としても執行部と合わせ、タブレット端末の導入を決定したという経緯である。

今後、タブレット端末を災害時の情報収集や伝達にも使用していくということであるが、そのほかさまざまな有効利用も考えられることから、本市議会においても早期の導入を検討していきたいと考える。

本会議のインターネット配信については、1市・1町・1村の合併の際に構築した通信網を利用し、多くの市民の方々が中継を見られるようにと導入したとのことである。本市においても開かれた議会、市民の皆様に親しみやすい議会とし

て多くの方にご覧いただけるよう、インターネットによる議会中継や録画配信にさらに力を入れて取り組んでいきたいと感じた。

## ○新潟県村上市

### 村上市人口減少問題対策「チャレンジプラン」の策定について

#### 【所見】

村上市は、平成25年3月に厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所から公表された将来推計人口において大変厳しい状況に陥るとの危機感から、人口減少問題への早期な取り組みが最重要課題であると捉え、いち早い対応策を検討するために「村上市人口減少問題対策委員会」を設置し、検討を進め、人口減少問題対策「チャレンジプラン」を策定している。この問題については早期の取り組みが必要とされるとして「取り組めることから取り組む」ことを基本方針とし、早期の事業化を目指すプランとすると定めている。中でも、特徴的で興味深い事業に「成人式での地元産業PRブースの開設」や「若者の交流を通じた地域活性化事業の推進」などがあった。

「成人式での地元産業PRブースの開設」は、村上市では市内1カ所で成人式を行うため、その会場に地元産業及び地元産業の就労者によるブースを設けて、地元産業の魅力を若い方たちに知ってもらうという企画である。本市では成人式の会場が分散しているため村上市のような方式は難しいと思われるが、若い方たちへの地元の魅力のPRは非常に重要なことであると思う。すぐに結果の出る事業ではないかも知れないが、地元を離れた若者が将来、地元に戻ろうと思うきっかけになるよう、本市でも機会をつくりこのような事業に取り組むべきと考える。

また、「若者の交流を通じた地域活性化事業の推進」は、SNSや口コミで広がり、今では「おしゃべりカフェ」となり、さまざまなイベントや子育て世代のママたちの集まり等で賑わいをみせているとのことである。本市においても、さまざまな世代が集えるようなこうした場ができれば、活性化につながるのではと感じた。